

11月30日のウクライナ情報

安齋育郎

①【28 日のニュース】ガザ合意延長も、停戦違反相次ぐ NATO、ウクライナの苦境認める(Sputnik 日本, 2023 年 11 月 28 日)

イスラエル・パレスチナ情勢

◆ハマスの、4 弾目となるイスラエル人人質を解放

ハマスの軍事部門「アル・カッサム旅団」は、停戦開始以来 4 弾目となるイスラエル人の人質 11 人を解放した。また、イスラエル側も同日、拘束しているパレスチナ人 33 人を釈放した。カタール外務省は 27 日、紛争当事者双方がガザ地区の停戦をさらに 2 日間延長する合意に達したことを確認した。



エジプトとガザ地区の境界にあるラファ検問所で行列をつくる人道支援物資を積んだトラック

© AP Photo / Amr Nabil

◆合意延長も停戦違反が相次ぐ

延長で合意して一夜明けた 28 日、ガザ市東部と北部で、激しい銃撃の音が聞こえた。目撃者がスポーツニクに明かした。イスラエルとハマスの一時戦闘休止以降、初の深刻な停戦違反の可能性がある。

目撃者によると、ガザ地区北部上空ではイスラエル軍の軍用機が飛行した。また、アラブ圏各メディアは、南部を含む複数の地点でイスラエル軍の戦車部隊が砲撃したと伝えた。

イスラエルとハマスの仲介役を務めるカタール外務省は、「大きくない停戦違反があるものの、大枠は守られている」との認識を示した。現在のところ、双方とも 28 日の追加の人質解放に向けて準備を進めているとみられる。

ウクライナ情勢

◆NATO 事務総長「ウクライナ軍は極めて苦境」

ベルギーのブリュッセルで 28 日、北大西洋条約機構(NATO)加盟国の国防相会合が行われている。これに先立ちイエンス・ストルテンベルグ事務総長は、ウクライナ軍の反攻に何の進展も観られないという問いに対し、NATO の武器等の供与にもかかわらず、ウクライナ軍の戦線の状況は極めて複雑という声明を表した。

「我々は今、集中的な戦闘を目にしている。いずれの戦線の状況も、特に東部は非常にきつい。戦線

が動かないことを背景に、その損失があまりにも大きいことを目にしている」

イエンス・ストルテンベルグ(NATO 事務総長)

ストルテンベルグ事務総長はウクライナと西側の NATO 諸国は「ロシアを過小評価」してはならないと釘を刺している。



NATO のストルテンベルグ事務総長

© AP Photo / Mindaugas Kulbis

◆ゼレンスキー大統領、支持率低下

米ブルームバーグ通信は 28 日、ウクライナ人の間で反転攻勢失敗と、紛争終結の展望がないことによる絶望と疲れが広まっていると伝えた。世論調査によると、ウオロディミル・ゼレンスキー大統領の支持率は 76 パーセントと依然として高いものの、昨年 2 月以降で最高だった 91 パーセントからは低下している。



ゼレンスキー大統領

© AP Photo / Evan Vucci

<https://sputniknews.jp/20231128/28nato-17741927.html>

②ロシア兵 負傷したウクライナ兵を命懸けで戦線から救出(Sputnik 日本、2023 年 11 月 27 日)

スプートニクは、ウクライナ兵士を救出する様子を収めた映像を入手した。

ロシア兵は最初、自力で這って来るよう命じたが、ウクライナ兵の一人が負傷していることを認めた。

ロシア兵は「痛いのはわかるが、死にたくなければしっかりつかまれ」と答えた。

https://videon.img.ria.ru/Out/Flv/20231127/2023_11_27_x2x_42us2uz4.nnp.mp4



<https://sputniknews.jp/20231127/17733411.html>

③ ダグラス・マクレガーの見立て(2023年11月28日)

※ちょっと意味を取りにくい翻訳部分もありますが。

ウラジーミル・プーチンはウクライナの住宅街に 2000 ポンドの爆弾を落とさないが、ネタニヤフ首相たちはガザでそれをやっている。ウラジーミル・プーチンは、ネタニヤフ首相よりもずっと慎重で、注意深く、忍耐強い。

これは一方が合法的な主張に突き動かされ、もう一方があなたの言うように過激化した復讐心に突き動かされているからなのだろうか？

「プーチンはウクライナの戦争を悲劇とみなしている。彼はウクライナのスラブ正教徒を、ロシアに住む人々の事実上の従兄弟か兄弟とみなしており、実際、今回の戦闘が起きたウクライナの一部では、そこに住む人々のほとんどが民族的にロシア語を話す人々であることは間違いない。

だから彼は、そのような観点からこの事態を肯定的に捉えたことはない。

そして興味深いことに、彼を攻撃してきた人々は、あなたが指摘するように彼は慎重であり、彼の軍隊もそうであろうとしてきた。そしてアメリカ人は、洗脳とまでは言わないが、イスラム教徒のアラブ人をほとんど否定的なイメージでしか見ないことで、長い時間をかけて組織的にその準備をされてきたのだと思う」



<https://twitter.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1729455934609744117?s=09>

⑤アメリカの元陸軍将校の弁(2023年11月28日)

元アメリカ陸軍将校のスコット・ベネット氏が1年近くウクライナに行き、真実の暴露をアメリカ議会で話します。

その前にRTのニュースに出演されていたので、翻訳したので時間ある時にでもみて下さい。アイコンがウクウクさんにもみてもらいたいかも。真実だから。騙されてたって気がついてくれると幸いです。ゼレンスキー大統領はアメリカが彼をマイアミの別荘に救出してくれるといまだに思ってますが、多分無理。戦争責任取らされなければ良い方じゃないかな。

日本政府が保証人になっているから、ブラックロックとかの投資会社は心配なくウクライナのインフラを整備できるでしょう！！圧倒的な軍事力があるのに、殆ど首都のキエフを攻撃しなかったプーチン。これだけで、フェイクメディアの嘘が判明しますよ。



<https://twitter.com/w2skwn3/status/1729461284553551923?s=09>

⑥ウクライナ国営軍事企業支配人の弁(2023年11月29日)

ウクライナ国営軍事企業ウクルオボロンпромマルチン・ブレスト支配人「数百万人を動員してもウクライナはロシアに負ける」。たとえ 400 万人が招集されたとしても、ロシアは戦力を増強し続けるだろう。

<https://twitter.com/i/status/1729544384285118587>



<https://twitter.com/tobimono2/status/1729544384285118587?s=09>

⑦ロシアで日本ブーム再来か 関連書籍の売上 1.7 倍(Sputnik 日本、2023年11月28日)

露書籍販売大手がまとめた今年 1～10 月の統計によると、小説などを除くノンフィクションの日本関連書籍の売上は、前年同期比で紙書籍が 73%、電子書籍が 41%増加した。

そのうち、最も売れた紙書籍は日本アニメに登場する料理の作り方をまとめた「いただきます、アニメのレシピ」、電子書籍では海外の有名日本研究者ナンシー・ストーカー氏の「日本・歴史と文化～侍からマンガまで」だった。

このほか、江戸時代の武士・山本常朝による武士道の書物「葉隠(露題:武士道のコーデックス)」や京都祇園の元伝説的芸妓 #岩崎峰子 氏による「芸妓峰子の花いくさ(ゲイシャの人生、世界で最も有名なゲイシャの回想録)」なども人気トップ 3 にランクインした。

他の東アジア諸国に関する書籍の売上も伸びており、中国が 42%(紙)、韓国が 2 倍(紙)、北朝鮮が 29%(電子書籍)などとなっている。全体で増加率が最も大きかったのは日本関連で、ロシア人の間での #日本ブーム の再来を示す結果となった。



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1729474032561455429?s=09

⑧【ロシアニュース解説】和平交渉妨害の事実!!～ウクライナ側責任者の告白(及川幸久、2023年11月29日)

※安齋注:極めて重要な情報を含んでいます。必見ですね。相変わらず早口のニュース解説ですが、私が新版『ウクライナ戦争論』に書いたロシアとウクライナの2022年3月の和平交渉についてもウクライナ側当事者からの詳しいコメントもあります。

<https://youtu.be/BMX8hMoVaH8>

1. 戦況 2. 2022 和平交渉の深掘り～米欧英停戦の狙い

<https://www.youtube.com/watch?v=BMX8hMoVaH8>



㊦ウクライナ戦争は終わった(The War In Ukraine Is Over !) USA Velocity
ニュース 27/11/2023

※安齋注:これも極めて重要な情報源です。西側のメディアが現状をどう見ているか、必見です。

<https://youtu.be/eq7cOiLBU0>



<https://www.youtube.com/watch?v=eq7cOiLBU0>